

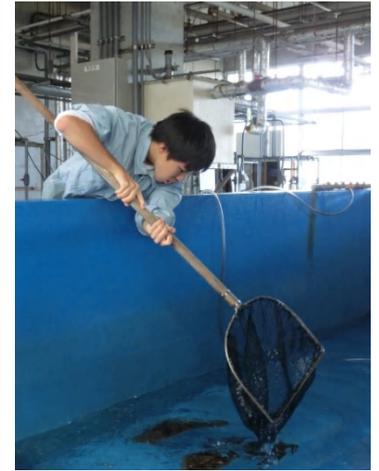


マリンバイオ同好会 活動報告No. 24

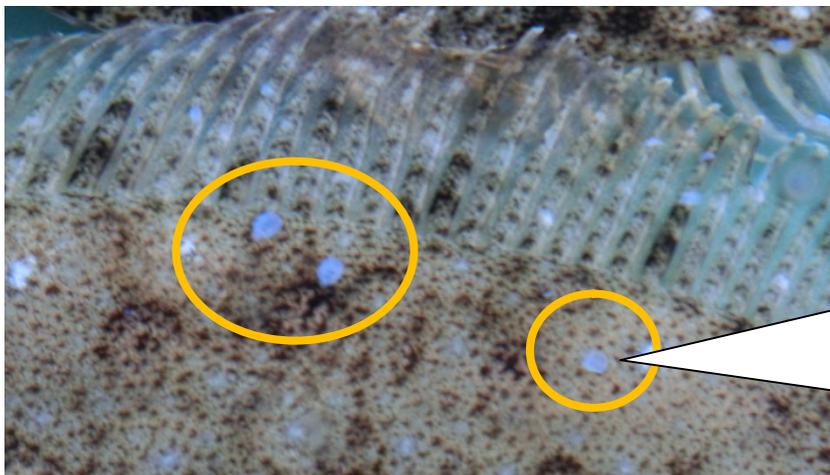
～ 2011年 11月 ～

☆ ヒラメ淡水浴

マリンバイオ同好会で飼育しているヒラメの淡水浴を行いました。エサ食いも良く、問題は無い状態でしたが、淡水浴を行ってみると、いくつかハダムシが体表についていました。良いタイミングで行えたと思います。ハダムシの発生時期には、定期的に淡水浴を行う必要を感じました。



[淡水浴の様子]



[ベネデニア (ハダムシ)]



拡大写真

数分間、淡水に浸けるとハダムシは死んで白くなり、見えるようになります。枠の中に、死んだベネデニアがいます。

ベネデニアは一般にハダムシと呼ばれ、大きさは 15 mm程です。魚の体にしっかりと付着し、魚の皮ふや粘液などを食べます。このため寄生を受けた魚の魚体から出血がみられることがあります。寄生された魚は寄生虫を落そうと色々な所に体をこすりつけ、体がスれてしまい、死んでしまうことがあります。早期に発見し、淡水浴を行えば問題はありません。

ヒラメは昨年の5月に採卵し、卵から育てたものです。大きなものは700gにまで成長しました。